

令和4年度自己評価結果（公表）

社会福祉法人白山優心会
幼保連携型認定こども園
白山こども園

1 園の教育・保育目標

昭和 31 年から積み重ねてきた保育実績を礎に「明るく心身共に健康な子どもを育てる」ことを念頭に、以下に示す理念を叶えるべく日々の教育・保育を実践する。

教育・保育理念

- ・命の大切さを知り、人のみならず草木や花、虫や小動物にも想いを寄せる優しい心。
- ・失敗から学ぶ力や、人と協力できる協調性。自分で考える力や、違う価値観を柔軟に受け止める心。
- ・食べるということは生きる喜び。生きてゆくために命を呈してもらった食べ物に対する感謝の心と関わったたくさんの人たちへの感謝の心。

子どもたちが目指す「みんなの目標」

- 1、 遊びを楽しむ子ども
- 2、 あいさつが素直に言える子ども
- 3、 感謝して食べる子ども
- 4、 優しい心をもつ子ども

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- 1、 子ども主体の教育・保育の提供。
- 2、 保育環境の配慮。
- 3、 子どもの主体性を重視した遊びの展開。
- 4、 職員の資質向上。

3 項目ごとの評価・検証

	職員点検	対象 17 名
○	組織点検	園長・副園長

評価の該当欄に○記入

- A：到達目標を十分達成している。適正。よくできている。そう思う。（優）
B：到達目標を一応達成している。ほぼできた。一部検討。やや思う。（良）
C：不十分なところもあるが、到達目標の最低レベルを達成している。（可）
D：到達目標を達成していない。対象外。検討・課題・反省点多数。×。（不可）

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
1 教育・保育の計画	A	B	C	D	・特別な支援、サポートが必要な幼児に対して関わり方や今後の動き等、職員間で話すことは十分できたが、指導計画の作成に対して記入が遅くなることもあり反省している。 ・評価・改善という点で、担任間でもっと共通の認識で保育ができるようもう少し詰めた話ができればよかった。 ・PDCA サイクルで反省、改善につなげたい。 ・もっとその子どもに応じた目標や内容を設定すべきだった。 ・日々子どもたちの姿からつなげた内容となるよう目標を掲げていきたい。 ・もっと食育を意識した言葉かけや感謝の気持ち表せる指導をすべきだった。
園の基本理念・方針・目標を理解している。	9	5	2	1	
幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って長期・短期の指導計画を作成している。	4	10	2	1	
乳幼児の発達や実態に即したねらいや内容を設定している。（3 歳未満児は個別計画作成等含む）	9	7	1	0	
PDCA（計画・実践・評価・改善）サイクルを用いて、質の向上・改善に努めている。	3	10	3	1	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
2 教育・保育の内容	A	B	C	D	・「早く」「ダメ」という言葉を使わずに次のことに見通しがもてる声かけをすべきだった。 ・来年度は子どもの「～したい」「～作りたい」という思いを受け止める努力をしたい。 ・自分の語り口調を子どもたちがまねる場面を見た。もっと意識した接し方をしたい。 ・主体性を養う上で遊びを選べるほど選択肢がないように思う。環境設定等改善の余地あり。 ・コロナ禍で地域との関わりが持てなかった。 ・急いでいるとき、つい「早く」と言ってしまうことがあり反省している。 ・保育の中で現在大事とされている「主体性」「非認知能力」。自ら遊びを選択できたかと聞かれるとそうではなかったと反省している。もっとワクワクできるような環境設定が必要だった。 ・声かけする前に本当に適切であるか余裕をもって考えることができるよう努めていく。
子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話すよう心掛けている。	8	8	1	0	
子どもの名前は、呼び捨てにせず「くん」「ちゃん」で呼んでいる。	8	6	3	0	
「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている。	4	6	6	1	
「きらい」等、全否定する言葉を使わず、代わりに「にがて」等、受け入れる余地がある肯定的な言葉遣いを心掛けている。	12	3	2	0	
子どもの目線に立ち、気持ちや想いを大切にしながら対応している。	10	6	1	0	
一人ひとりの発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった教育・保育に努めている。	6	10	1	0	
身近な自然や地域、社会と関われるような取り組みをしている。	6	6	3	2	
子ども自ら遊びを選択し、主体性をもって自分らしさを確立していけるような環境設定や、声かけを行っている。	4	8	7	0	
非認知能力を高める教育・保育を展開している。	2	10	5	0	
遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。（社会的ルール・遊びのルール・お当番・異年齢交流など。）	7	9	1	0	
子ども一人一人の人格に配慮した関わりを心がけている。	17	0	0	0	
子どもの育ちや家庭環境に配慮した関わりを心がけている。	15	2	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
3 保健管理	A	B	C	D	・感染対策を行っても広がることもあり情報共有等、保護者と共に素早い対応をしていきたい。 ・気をつけていても流行してしまうこともあり特に未満児は対策に限界を感じる。
保護者との引継ぎ時や日常での健康観察、毎月の身体測定、園医による健康診断を実施している。	15	1	1	0	
「健康・安全・発達の確保」を図るため園保健計画を策定し、計画に基づいて生活安全指導・健康指導を行っている。	11	3	1	2	
乳幼児の病気やケガ、疾病予防等の情報を「保健だより」等で情報提供している。	12	3	1	1	
感染予防対策として、設備・備品等保育環境の殺菌消毒を徹底して行っている。	15	2	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
4 安全管理	A	B	C	D	・不備や破損を見つけたら即座に職員間で共有する。 ・視野を広く持ち未然に防げるよう想定した対応を心がけたい。 ・事故記録等を常に見て過去からの傾向等を知り活かす。
園安全計画を策定し、毎月避難訓練（火災・地震・防犯・風水害）、交通安全指導を実施している。	16	1	0	0	
保育環境設備安全点検表で屋内外の設備や遊具・おもちゃ・備品の安全点検を実施している。	15	2	0	0	
園内事故記録書で事故やケガ等の記録をし、園内研修等を通して結果や改善点を職員が共有している。	12	3	2	0	
「さくら連絡網」を活用し緊急事態発生時の保護者連絡を確立している。	16	1	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
5 食育	A	B	C	D	・食材を実際に見せる効果は大きいのでさらに頻度を増やして見せてあげたい。 ・食べにくいメニューがあった時など、残食や食べる様子を給食担当者に伝え改善されていた。細かい連携の重要性を感じた。 ・落ち着いた食事を楽しむための困難さを実感することがあり、良い関わりを持つための余裕が課題だった。
園の食育理念をよく理解し、子どもたちに伝えるよう取り組んでいる。	8	7	2	0	
子どもたちが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している。	10	6	1	0	
子どもたちが食材やメニューに関心をもてるよう働きかけている。	8	9	0	0	
医師から指示があった場合、アレルギー状況に応じて適切な対応を個別に行っている。	14	2	0	1	
給食会議の中で管理栄養士や調理員等と意見を交換し合い、連携して食育活動に取り組んでいる。	12	5	0	0	
食事のマナーを、年齢や発達に応じて教えている。	11	6	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
6 組織運営	A	B	C	D	・自己管理に気を配り一職員として責任をもって行動できた。 ・未満児と以上児間で情報が食い違うことがあった。 ・提出物の期限に遅れることがあったので反省している。 ・重要な事や連携に関してはとても密にしていると思う。今後もしっかり取り組む。 ・マナーやモラルをわきまえた行動を常に意識して職務に臨む。
各係の担当、職務の分担を明確化し、管理責任体制の整備をはかり、職員間における報告・連絡・相談・確認の連絡、連携体制が整っている。	9	7	1	0	
協力体制の重要性を認識し、上司の指示・指導、同僚の助言に耳を傾け、素直に聞き入れ決定事項・規則・手続等を守ることができる。	9	8	0	0	
各種文書や個人情報（パソコン・USB 含む）を適切に管理し、守秘義務の厳守・情報の取り扱い方針を周知徹底している。	16	0	0	1	
時間を厳守し、健康管理にも気を配り、職務に積極的に取り組むことができる。	11	5	1	0	
休日や就業外の個人の自由下においても、その言動（SNS 等含む）には白山こども園の職員として、また社会人としてモラル・マナーをわきまえ理解し、行動している。	15	2	0	0	
毎朝ミーティングを行い、全園児の保護者との引継ぎ状況、出欠・遅刻・早退・疾病・健康状態等の情報をとりまとめ全職員周知している。	15	1	0	1	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
7 研修（資質向上への取り組み）	A	B	C	D	・保育についてより具体的な内容や環境設定等について取り上げた話し合いを増やしたい。 ・園内研修や職員会議で自分の意見を積極的に発言していきたい。 ・外部研修報告はとても勉強になることが多くあり今後もしっかり学んでいきたい。
園内研修・外部研修に積極的に参加し資質向上に努めている。	12	5	0	0	
外部研修の内容を、園内研修内で職員還元している。	12	5	0	0	
職員一人につき、年間を通してなるべく均等に研修機会を与えられている。	11	6	0	0	
園内研修は毎月（年間 12 回）実施している。	12	5	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
8 情報提供	A	B	C	D	・クラスだよりが手書きで見にくいと意見があった。見やすさと児をきれいに書くよう意識していく。 ・保護者に対しHPを通して画像で伝えられることはとてもいいと思う。 ・ICTに対し経験の乏しさゆえ不十分な点が多々あった。少しずつでも身につけていく努力をしていきたい。 ・おたよりやホームページを活用し保護者との連携をしっかりとれていると思う。引き続き取り組んでいきたい。
園に関する様々な情報を、園だより・クラスだより・行事等を通して伝えている。	11	5	1	0	
ホームページを活用して、広く周知するための工夫をしている。	10	4	3	0	
園の外掲示板やホームページ等で、地域の人にも情報を発信している。	6	10	1	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
9 子育て支援（地域・社会との連携）	A	B	C	D	・行事の反省点を前年度と比較してより良いものになるよう改善していると思う。 ・コロナ禍の影響で他施設や地域との交流が減っていた。落ち着いたら地域の方と関わりを増やしていきたい。 ・休日園庭を開放しているので、日常的にしっかりと安全管理を徹底していきたい。
様々な行事や日々の引継ぎ、懇談等を通して保護者とのコミュニケーション・相互理解に努めている。	8	8	1	0	
老人・小中高生との交流やボランティアの意義・方針を理解している。	5	8	3	2	
認定こども園として子育て支援が必須であることを理解している。	13	4	0	0	
園庭等を開放し、未就園児や地域の子どもたちに、憩いの場・交流の場を提供している。	14	3	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
10 環境整備	A	B	C	D	・壊れた絵本の修繕に時間がなかなか取れず後回しになりがちだった。 ・細かなところの掃除ができていなかった。 ・忙しい時期など余裕がないと管理等が不十分になりがちであった。職員間の声かけ連携に努めていきたい。 ・身だしなみ、言葉づかいについて自分を見直していきたい。
健康・安全かつ快適に生活できるよう、清潔感のある環境維持に努めている。	12	4	0	1	
絵本・教材・用具・用品を適切に活用し、点検整備・管理に努めている。	8	8	1	0	
教育・保育に従事する者は、人的環境であることを理解し、爪を短く切る。髪型・髪色や表情がわかるよう配慮された髪結いなど、清潔感のある身だしなみを心がけている。	12	3	1	0	
人的環境であることを理解し、子どもや保護者、同僚に対しその言動に十分責任をもって対処している。	13	4	0	0	